

用語と整合を取って明確にしたほうがよい。 (岡村委員)
➤ 承知した。 (事務所)

(4) 審査方法等について

- ・ 「バリアフリー」という言葉は、あまり適切ではない。 (中瀬委員長)
 - 適宜、「ユニバーサルデザイン」という言葉に改める。 (事務所)
- ・ 応募書類の内容について、金額の桁間違いなど明らかなミスは、事務局で修正可能か。 (岡村委員)
 - 指針には明記しないが、事務局内部で対応のポリシーを固めておく。 (事務局)
- ・ 使用料、投資額、整備面積の評価について、最大の応募者に対する割合で計算する方法は、点差がつきにくいのではないか。 (岡村委員)
 - 投資額、整備面積については差がつくと期待している。整備面積の下限は、経営シミュレーションで算定した最低限の民間負担余力を基準に設定しており、民間の工夫次第で拡大する余地がある。 (事務局)
- ・ 民間のユニークなデザインやアイデアが引き出されるように、評価の視点は書き込みすぎないほうが良いのではないか。 (中瀬委員長)
- ・ シースケープ・ラウンジエリアは、高潮の影響はないのか。 (中瀬委員長)
 - 本エリアは高い土地にある。標高付きの測量図を載せているので、ハザードマップと対比すれば応募者側も判断できる。 (事務所)
- ・ スウェーデンの性別を問わないトイレのように、ユニバーサルデザインについては何をユニバーサルデザインと考えているかが評価の対象になる (中瀬委員長)
- ・ うずしお科学館やホテルニューアワジなどの淡路島内の活気のある参考事例を民間に示したほうがよい。
 - ホームページに淡路島観光協会のリンクを掲載することを検討する。 (事務所)
- ・ 無難な評価項目が細かく並んでおり、オーソドックスな提案が評価されやすいように思う。ユニークでおもしろい提案の制限となることが懸念される。 (熊谷委員)
 - 配点が細かすぎる印象がある。評価項目ごとの配点で括るぐらいでもよい。(岡村委員)
 - 景観やユニバーサルデザインなどの配慮事項は、選定後の協議で国から要望できるのであれば、総合的に優れた提案を評価するため、評価項目で細かく縛らないほうがよい。(熊谷委員)
 - ポジティブな提案を如何に引き上げるかという発想が必要である。 (中瀬委員長)
 - ご意見を踏まえ修正する。公告時にご報告させていただく。 (事務所)
- ・ 民活エリア外においては民間提案の余地はないのか。 (中瀬委員長)
 - サウンディング時点で、民活エリアの面積(8,900㎡)でも十分に広いという意見が多かったため、民活エリア外は固定で考えている。 (事務局)
- ・ 全体基本構想において敷地計画やサイトプランニングという用語を入れれば、施設配置を含めてデザイン提案を求めていることが伝わりやすい。 (中瀬委員長)
 - 承知した。 (事務所)
- ・ 指針の作成にあたって、自治体の意見は反映されているか。 (岡村委員)

➤ 兵庫県、商工会議所に事前にサウンディングしている。

(事務所)

5. 閉会

以上